

残念、3000本流し

記録は1032本 井手方灯昌山



ゴールに到着したそうめんを拍手で迎える参加者ら（井手町で）

そうめん流しの入世界最長記録への挑戦が23日、井手町の方灯昌山で行われた。山道に竹製の樋を連ねて3000本の新記録樹立を狙ったが、そうめんは1032本の地点であえなくストップ。残念な結果に終わったものの、主催者は地元を挙げて協力してくれた。またチャレンジしたい。

と決意を新たにした。府南部の若者たちでつくる地域おこしグループ「京都たけプロジェクト」が企画。ボランティアら約300人が19日から、地元の放置竹林の竹500本を切って全長3020本のコースを作り、昨年7月に福岡県でつくられた2345本の記録更新を目指した。

この日は、山頂近くから、紅白のそうめん88本を流したが、竹のつなぎ目から水

が漏れるなどして失速。一度止まった地点を記録としてうえで、水を継ぎ足してスタートから3時間45分で到着点まで流しきった。同プロジェクトの上田貴代表(28)は「記録更新はできなかったが、放置竹林問題を知ってもらったきっかけになった」と振り返った。